



「続・しごとば」原画

原画でしか味わえない魅力

絵本の原画を間近で見ると、印刷では分からない発見がたくさんあります。筆のタッチ、色の重なり、細やかな描き込みなど、作家が一筆一筆に込めた思いや工夫を感じられるのは、原画展ならではの醍醐味。

「しごとば」シリーズでは、職人の道具一つ一つまで丁寧に描かれた細部に驚かされ、「大ピンチずかん」では、子どもたちの表情の豊かさに思わず笑顔になってしまいます。



「ぶららんこ」原画

鈴木のつたけの原点に迫る!

自分にしかできない何かを探して、毎日悩むケチャップマン。2008年に発表したデビュー作「ケチャップマン」のアナザーストーリーや絵本に未収録の秘蔵原画も一挙公開。



「ケチャップマン」原画



『大ピンチずかん』をレベル別にたっぷり紹介

「大ピンチずかん」のキャラクター「The Columbus」が描かれています。

「大ピンチずかん3」原画

ベストセラーとなった「大ピンチずかん」シリーズ。「こんなピンチあるある！」大人も子どもも共感の嵐。

「大ピンチずかん2」原画

展示会場では原画に加えて、ゲートにくぐったり、迷路図に登場するモチーフを探したり、「創作コーナー」で自分の作品を作ってみたりと、頭と体を動かしながらその世界観を体感できます。

創作の秘密を解き明かす



「ぼくのトイレ」原画



「す〜べりだい」原画

絵本をつくるたびに毎日新たな手法を試行錯誤。原画をじっくり観察して、創作の裏側を見てみよう。

画像(全て)：©Noritake Suzuki



絵本の中身、大放し!

だいたい鈴木のつたけ 大原画展

新市誕生20周年を記念して開催する特別展「鈴木のりたけ大原画展」について紹介します。

夏休み期間に、ぜひ家族や友人と一緒に鈴木のりたけの絵本の世界を楽しみませんか。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

「おもしろい」の秘密

「大ピンチずかん」や「しごとば」「ぼくのトイレ」などの絵本を手に取ったことはありませんか。子どもから大人まで、読む人の心をぐっとつかんで離さない作品を次々と生み出している絵本作家・鈴木のりたけさん。その作品の魅力は、なんととってもユーモアたっぷりな発想力と、身近なものを新しい視点で見つめる観察眼にあります。日常的な場所を冒険の舞台に変えたり、人間のようなくさをする動物や野菜が登場したり、子どもたちの「大ピンチ」な瞬間を図鑑として紹介したりと、どんなものでも「おもしろい！」に変えてしまう、まさに魔法のような才能の持ち主です。

本展では、初期から最近までの絵本原画に加えて、取材スケッチや制作道具なども公開し、その秘密に迫ります。



「大ピンチずかん2」原画

特別展の概要

●会期 7月7日(火)～8月16日(日)

※月曜日休館(7月20日(月)は開館、翌日21日(火)が休館)

●開館時間 9時～17時

※入館は16時30分まで。夜間開館日

8月8日(土)・14日(金)は20時まで(入館は19時30分まで)

●場所 市立美術館

●観覧料 一般1200円(千円)、小・中学生・高校・大学生500円(300円)、未就学児無料

※(一)内は、7月6日(月)までの前売り料金や、65歳以上の人および17時以降の入館者などの割引料金(併用不可)。市内に在住・通学する小学生は無料(受付で学校名などを確認する場合あり)。障がい者手帳など(アプリ含む)を持つ人とその介護者は無料。詳しくは、市ホームページを確認してください

小学生のみんな集まれ!

市内の小学生は入館無料。夏休み期間中に開催する本展に、ぜひ家族や友人とお越しください。



Photo by Yoshinori Kurosawa

すずき 鈴木のりたけ

絵本作家。1975年、静岡県浜松市生まれ。千葉県在住。グラフィックデザイナーを経て絵本作家となり、「ぼくのトイレ」(PHP研究所)で日本絵本賞読者賞、「しごとば 東京スカイツリー®」(プロンズ新社)で小学館児童出版文化賞、ほか多数受賞。「大ピンチずかん」(2022年)は2023年のベストセラー児童書部門第1位を受賞するなど、子どもの失敗をユーモアあふれる視点で捉え、図鑑の形式で1コマずつ集めた内容が共感を得ている。2018年には市立図書館などでトークイベントを実施。